



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
 コード番号 3286 URL <http://www.trust-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

(氏名) 渡邊 靖司
 (氏名) 矢羽田 弘
 配当支払開始予定日

TEL 092-437-8944
 平成26年3月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	6,106	—	466	—	395	—	193	—
25年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 193百万円 (—%) 25年6月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	40.88	40.46
25年6月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期比較は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	10,521	1,224	11.6	259.06
25年6月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 1,224百万円 25年6月期 1百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期比較は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期	—	8.20	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	8.20	16.40

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、平成26年6月期第2四半期末の配当原資は、その他資本剰余金であります。詳細は、本日公表の「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

(注2) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期比較は記載しておりません。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	—	820	—	700	—	290	—	56.20

(注1) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期比較は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	5,160,000 株	25年6月期	— 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	433,000 株	25年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	4,727,000 株	25年6月期2Q	— 株

(注1) 期末自己株式数は、株式付与ESOP信託が所有する当社株式が含まれております。

(注2) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期比較は記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成25年7月1日に単独株式移転によりトラストパーク株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期及び前連結会計年度末と比較を行っている項目については、それぞれトラストパーク株式会社の平成25年6月期第2四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成24年12月31日まで）及び平成25年6月期連結会計年度末（平成25年6月30日）と比較しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策や大胆な金融政策などを背景として、一部では企業業績の向上や消費動向の改善など、着実に景気回復の兆しが見られてきております。しかし、不安定な世界経済等の影響をうけ、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力、不動産等事業におきましては、新築分譲マンションの販売に注力いたしました。

以上の結果、売上高は6,106,051千円（前年同期比96.4%増）、営業利益466,131千円（前年同期は22,061千円の営業損失）、経常利益395,520千円（前年同期は95,375千円の経常損失）、四半期純利益は193,251千円（前年同期は84,201千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

①駐車場事業

建築着工等に伴う駐車場賃貸借契約の終了が増加しつつある状況の中、営業員を増員し、新規駐車場の開発に注力するとともに、既存駐車場の収益力向上のため料金改定、カード会員獲得、地代交渉、低採算駐車場の閉鎖等を積極的に行ってまいりました。その一方、駐車場オープン数の増加（前年同期56ヶ所に対し98ヶ所）に伴いオープン初期費用が増加したことに加え、営業員の増員等に伴い費用が増加しました。

以上の結果、売上高は2,915,567千円（前年同期比0.2%増）、営業利益67,875千円（同57.7%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の駐車場数は699ヶ所（前年同期より49ヶ所増、前連結会計年度末より56ヶ所増）、車室数は25,701車室（前年同期より1,064車室増、前連結会計年度末より2,400車室増）となっております。

②不動産等事業

平成25年8月に新築分譲マンション「トラスト新宮中央ネクサージュ（福岡県糟屋郡新宮町）」、が竣工、119戸の引渡しを行いました。

また、前連結会計年度末にて残1戸となっております「トラストネクサス木町ウイングレジデンス（北九州市小倉北区）」及び残6戸となっております「トラスト八女カルディオ（福岡県八女市）」の引渡しを実施、全戸完売となりました。

以上の結果、売上高3,134,259千円（前年同期は152,847千円の売上高）、営業利益412,049千円（前年同期は167,588千円の営業損失）となりました。

なお、「トラスト新宮中央ネクサージュ」の残1戸につきましては、平成26年1月に引渡しを実施、全戸完売済であります。その他、第3四半期以降では「トラスト大牟田カルディオ（福岡県大牟田市）」及び「トラストネクサス新椋野（山口県下関市）」の新築分譲マンション2棟の引渡しを開始する予定です。

③その他事業

その他事業につきましては、JR博多駅前における大型ビジョン「トラストビジョン」の運営及び警備事業において順調に契約を確保してまいりました。また、平成25年11月及び12月にメディカルサポート事業を行う会社を2社設立し、同事業に参入、同年12月には広告事業会社である有限会社SRP（平成26年2月3日に株式会社SRPに商号変更）の全株式を新たに取得し、同社を子会社化しております。

以上の結果、売上高56,224千円（前年同期比21.7%増）、営業損失18,889千円（前年同期は14,421千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して800,235千円減少し、4,083,279千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少251,154千円、販売用不動産の減少78,267千円、仕掛販売用不動産の減少496,956千円等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末と比較して2,017,757千円増加し、6,438,484千円となりました。これは主に、北海道札幌市に自走式駐車場の取得等により有形固定資産が1,878,692千円増加、償却等によりのれんが29,916千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は10,521,763千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,217,521千円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して151,819千円増加し、4,303,122千円となりました。これは主に、短期借入金の増加678,770千円、買掛金の減少358,284千円、未払法人税等の減少43,011千円等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末と比較して912,503千円増加し、4,994,022千円となりました。これは主に、長期借入金の増加856,943千円等によるものであります。

この結果、負債合計は9,297,144千円となり、前連結会計年度末に比べ1,064,322千円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して153,198千円増加し、1,224,618千円となりました。これは主に、配当金の支払40,467千円、四半期純利益の計上193,251千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は11.6%（前連結会計年度末は11.5%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し255,352千円減少し、1,328,976千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により取得した資金は、378,096千円（前年同期は1,204,439千円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益375,636千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費169,461千円、のれん償却額27,784千円、駐車場設備等の減損損失20,039千円、たな卸資産の減少による増加額500,737千円、仕入債務の減少額370,835千円、利息の支払額60,379千円、法人税等の支払額258,561千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、2,026,653千円（前年同期は76,111千円の使用）となりました。これは主に、北海道札幌市の自走式駐車場の取得等に係る有形固定資産の取得による支出1,833,966千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出39,363千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、1,393,204千円（前年同期は1,245,747千円の取得）となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,833,770千円と短期借入金の返済による支出1,155,000千円、長期借入れによる収入1,610,000千円と長期借入金の返済による支出769,820千円、配当金の支払額40,077千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月8日に公表いたしました「平成26年6月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」における連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、トラストメディカルサポート株式会社及びメディカルアライアンス合同会社を新たに設立し、また有限会社SRP（平成26年2月3日に株式会社SRPに商号変更）の全株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成25年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,401,369
受取手形及び売掛金	134,537
有価証券	2,040
販売用不動産	271,919
仕掛販売用不動産	1,756,365
原材料及び貯蔵品	15,027
その他	504,004
貸倒引当金	△1,986
流動資産合計	4,083,279
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,504,125
土地	3,540,114
その他(純額)	526,969
有形固定資産合計	5,571,208
無形固定資産	
のれん	168,765
その他	215,016
無形固定資産合計	383,781
投資その他の資産	
その他	485,741
貸倒引当金	△2,247
投資その他の資産合計	483,494
固定資産合計	6,438,484
資産合計	10,521,763
負債の部	
流動負債	
買掛金	78,849
短期借入金	1,712,770
1年内返済予定の長期借入金	1,468,527
未払法人税等	176,817
ポイント引当金	21,260
資産除去債務	1,903
その他	842,994
流動負債合計	4,303,122
固定負債	
長期借入金	4,400,595
退職給付引当金	34,913
資産除去債務	30,452
その他	528,061
固定負債合計	4,994,022
負債合計	9,297,144

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成25年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	418,561
資本剰余金	260,118
利益剰余金	756,557
自己株式	△210,840
株主資本合計	1,224,395
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	215
その他の包括利益累計額合計	215
少数株主持分	7
純資産合計	1,224,618
負債純資産合計	10,521,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	6,106,051
売上原価	4,687,895
売上総利益	1,418,155
販売費及び一般管理費	952,024
営業利益	466,131
営業外収益	
受取利息	484
受取配当金	116
受取手数料	4,000
投資有価証券売却益	1,957
補助金収入	2,376
その他	2,282
営業外収益合計	11,216
営業外費用	
支払利息	60,638
その他	21,189
営業外費用合計	81,827
経常利益	395,520
特別利益	
固定資産売却益	154
特別利益合計	154
特別損失	
減損損失	20,039
特別損失合計	20,039
税金等調整前四半期純利益	375,636
法人税、住民税及び事業税	169,242
法人税等調整額	13,145
法人税等合計	182,387
少数株主損益調整前四半期純利益	193,249
少数株主損失(△)	△2
四半期純利益	193,251

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	193,249
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	406
その他の包括利益合計	406
四半期包括利益	193,655
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	193,657
少数株主に係る四半期包括利益	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成25年7月1日
至 平成25年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	375,636
減価償却費	169,461
減損損失	20,039
のれん償却額	27,784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,232
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,399
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,534
受取利息及び受取配当金	△601
支払利息	60,638
固定資産除却損	3,378
有形固定資産売却損益(△は益)	△154
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,957
売上債権の増減額(△は増加)	14,792
たな卸資産の増減額(△は増加)	500,737
仕入債務の増減額(△は減少)	△370,835
前払費用の増減額(△は増加)	19,238
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,038
その他	△124,311
小計	650,175
利息及び配当金の受取額	601
利息の支払額	△60,379
法人税等の支払額	△258,561
法人税等の還付額	46,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△9,204
定期預金の払戻による収入	5,004
有形固定資産の取得による支出	△1,833,966
無形固定資産の取得による支出	△101,608
有形固定資産の売却による収入	227
投資有価証券の取得による支出	△45,056
投資有価証券の売却による収入	32,035
貸付けによる支出	△35,650
貸付金の回収による収入	125
敷金の差入による支出	△39,363
敷金の回収による収入	7,711
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,231
その他	△10,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,026,653

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成25年7月1日
 至 平成25年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,833,770
短期借入金の返済による支出	△1,155,000
長期借入れによる収入	1,610,000
長期借入金の返済による支出	△769,820
リース債務の返済による支出	△85,677
配当金の支払額	△40,077
少数株主からの払込みによる収入	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,393,204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,584,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,328,976

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは持株会社体制の下、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、マンション等の開発業務や不動産賃貸・仲介業務を主とした「不動産等事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,915,567	3,134,259	6,049,826	56,224	6,106,051	—	6,106,051
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,212	6,161	7,374	20,823	28,197	(28,197)	—
計	2,916,780	3,140,420	6,057,200	77,047	6,134,248	(28,197)	6,106,051
セグメント利益 又は損失(△)	67,875	412,049	479,924	△18,889	461,035	5,096	466,131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去92,886千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,224千円及び棚卸資産等の調整額1,433千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。また、経営環境および今後の見通しを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失が発生しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては16,436千円(うち、のれんの減損損失は、6,826千円)であります。

「不動産等事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した設備の簿価額を回収可能性額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,602千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「駐車場事業」セグメントにおいて、経営環境および今後の見通しを勘案し、のれんの評価を見直した結果、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は6,826千円であります。

(重要な後発事象)

(重要な事業の譲受)

当社は、平成26年1月31日開催の取締役会において、連結子会社であるトラストネットワーク株式会社が温浴事業を譲り受けることを決議しました。

1. 事業譲受の目的

当該子会社の新たな事業領域の拡大により収益力の向上を図り、本事業の取得による安定的な事業収入が今後の業績に寄与するものと見込み、本事業を取得することといたしました。

2. 譲り受ける相手会社の名称及び事業の内容、企業結合の法的形式

(1) 相手会社の名称

相手先と守秘義務契約を締結しているため開示は控えさせていただきます。なお、相手先との間には、資本的関係、人的関係及び取引関係はありません。

(2) 事業の内容

温浴施設の運営

(3) 契約日

平成26年1月31日

(4) 譲受日

平成26年4月16日(予定)

(5) 企業結合の法的形式

事業譲受

3 譲受事業の取得原価及びその内訳

取得の対価(現金) 610,000千円

4. 譲り受けた資産及び負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。